



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 令和元年10月号

11月9日秋の茅刈りイベント参加者募集！！

昨年の茅刈り参加者の方々から、感想やメッセージをいただきました。

皆さんの刈った茅が合掌造りに使われます。普段は仕事でも多くと行う茅刈りですが、この日はたくさんの方と交流しながら茅刈りができるのが、一年に一度のささやかな楽しみでもあります。ご参加お待ちしております！（和田真樹さん・かや屋根技術舎）

荻町だけでなく、色々な地域の方が参加してくださっているんですね！みんなのアイディアで、もっと楽しい茅刈りが実現できそうですね！

前夜祭から茅刈り、直会と、昨年はフルで参加しました。参加された方の茅への熱い気持ちを知り、大変勉強になるとともに、感謝の気持ちが沸き上がりました。茅刈りへの参加がなかなか難しい村民の方も、直接茅を刈ることだけでなく、何かしらの形で接点を持つことが可能になれば、茅と共に暮らす者として責任感のようなものも出てくるのではないかと思います。それがゆくゆくは合掌造りの保存や世界遺産の保存に繋がると素晴らしいことだと思います。子連れでも気軽に参加できる取り組みなども今後期待しています。

合掌造りですが、茅の多くを村外から購入していると知り、衝撃を受けました。白川の茅で屋根を葺けるといいなと思い、茅刈りに参加しましたが、地域を越えて皆で同じ目標に向かうことの喜びも感じることができました。茅刈りに限らずですが、地域にとらわれずに助け合っていく村であり続けたいなと思えたので、今年は誰かを誘って参加し、一人でも多く仲間を増やしたいです。

白川に当たり前のようにある

（和田恵美さん・平瀬から参加）

（坂井美夕紀さん・荻町から参加）

ちょうど休みだったこともあり、白川村ならではの「茅刈り」に参加しました。思っていた以上に楽しかったので、自前の鎌を買ってしまいました(笑)。今年はマイ鎌で刈ろうと、今から張り切っています。

（藤田元気さん・鳩谷から参加）

村民はもちろん、村外からもたくさん参加してくださっています。当日の運営や、茅刈り二日目の企画を考えている「かややね会議」のメンバー。私よりずっと茅刈り上手です。

白川村での茅刈り参加は今年で四回目になります。北海道から参加しています。村外から参加させていただき、白川村の美しい景観を残す一助となれることが毎度嬉しく思っています。そして何より、茅刈りの時や、その後の直会で白川村の皆さんと交流し、色々なお話を聞けるのが楽しくて仕方ありません。一緒に汗を流し、直会で料理を囲みながら、もっとたくさん白川村のことを教えてください！お会いできるのを楽しみにしています！

（鈴木明世さん・かややね会議メンバー）

茅刈りは、自然の中で無心で作業に集中でき、心がすっきりします。そして、直会で村の方や参加者の方とお話するのが楽しみの一つです。一年に一回の茅刈りですが、顔なじみの方が少しずつ増えてとても嬉しいです。

（大久保優美さん・日本ナショナルトラスト）

屋根が大きい合掌造りに使われる茅の量は、日本各地の茅葺きの中で

もひときわ多いだろうと思いました。多くの人々の力で、広い茅場の茅が刈り取られていく様子が力強かったです。直会でも、村の方々に気さくにお話いただき、とても良い二日間になりました。今年もぜひ参加したいと考えています。

（飯田朗子さん・かややね会議メンバー）

村外参加者にとって、茅刈りで教わることや体験することは、全てが新鮮で、大切な経験になります。茅刈りの時間で皆さんと村外参加者が自然に接点を持ち、お互いにとって良い時間だと思っています。準備を進めてまいります。今年の茅刈りもどうぞよろしくお願いたします！

（出口美智子さん・日本ナショナルトラスト）



茅刈りには参加できませんでしたが、前夜祭に誘って

なかなかお仕事が休めない。そんな方は、こんな関わり方もあります！

もらい参加しました。村外で茅刈りの企画をして下さっている方がどのような思いで茅刈りに参加して下さっているのかを知り、当日参加できなくても、自分なりに茅刈りへの関わり方を考えていただければ参加したいし、直会のお手伝いにも行けたらいいなと思っています。

(滝麻衣子さん・前夜祭に参加)

子どもと一緒に前夜祭に参加しました。そこで感じたことは、大人が白川村の風習について学んでいることを、子どもたちにも小さい頃から慣れ親しんでもらえたら、ということです。大人と子どもと一緒に学び、守っていく。未来へつなげていく大事なコミュニケーションだと思いました。

(上手敬子さん・前夜祭に参加)

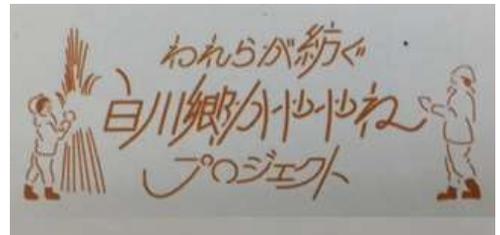
直会に参加して茅刈り参加者の労をねぎらい、共に盛り上がりましょう！おもてなし隊も大募集！

～守る会企画部長 鈴口智也さんから～

茅の村内自給率を高めるために行っている茅刈りは、昨年は村内から40名、村外から80名が参加。多くの方々力を結集し、1300束の茅を収穫しました。参加者、収穫数ともに過去最多となりましたが、今年はより多くの方々と一緒に参加したいです。一人での作業は大変ですが、皆でワイワイとやりながらの作業はとても楽しく、作業後の直会での村外参加者との交流もまた楽しいものです。皆で収穫した茅が、世界遺産の合掌家屋に活用されます。結の屋根葺きで世界遺産をつなぐように、茅刈りイベントにも是非ご参加ください！

[以上文責:福田]

- 日時：11月9日(土) 9:00受付～16:00(雨天中止)
- 集合場所：寺尾臨時駐車場(作業は飯島吉原谷の茅場)
- 内容：村が整備した茅場の茅刈りを行います。
昼食は各自持参。作業後は懇親会(無料)を予定(17:30～荻町公民館にて)。
- 持ち物：昼食弁当、カマ、長靴、ヤッケもしくはカッパ、帽子、軍手、タオル、(飲料水は2本支給)。



- ◎11月8日(金)、守る会定例会後に荻町公民館にて前夜祭(懇親会)を企画しています。関係スタッフや村外支援者の皆様と交流を深め、本イベントについて知っていただくことを目的に開催(会費制)。9日の茅刈りに参加できない方でも大歓迎！！
- ◎11月10日(日)は、鳩谷体育館にて屋根組み体験プログラム。村民も参加できますので、ぜひお申し込みを！！
- ・茅刈りに参加できないけど、直会の準備やおもてなし参加者も大募集(福田総務部長へ！！)。
- ・荻町区は各組寄合等にて参加とりまとめを。[×切10月16日(水)、和田へ提出ください]。
- ・昨年に続き、茅刈りウィーク11月1日～8日を試行。詳しくは別紙をご覧ください！！

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 9月の活動報告 ＝

- 9月 3日 荻町交通対策委員会(会長)
- 9月 4日 村伝建審議会(会長)
- 9月 8日 白山白川郷ウルトラマラソン荻町集落走行
- 9月 10日 9月定例会・役員会
- 9月 11日 ねそ9月号配付
- 9月 17日 村民学6年授業FA参画(福田、西村)

11月の定例会は、8日(金)18時30分～公民館にて開催。

◎区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

☆10月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

- ****・・・荻町城址展望台等整備工事
- ****・・・仮設車庫
- ****・・・建具の変更
- ****・・・自宅屋根箱棟に変更

※「センガ岩倉庫立て替えアンケート」、10月21日(月)までに各組委員へ！！